

# 令和6年度学校経営の改革方針

津市立東橋内中学校

## 1 学校教育目標

「豊かな心と健康な体を持ち、目標に向かって主体的に行動し、学び合う生徒の育成」

## 2 めざす学校像

- (1) 一人ひとりが大切にされる学校
- (2) 一人ひとりのよさが光る学校
- (3) 地域に信頼される学校

## 3 めざす生徒像

- (1) 人権を大切にし、仲間とともに高まろうとする生徒
- (2) 意欲的に学び合い、自己実現を図ろうとする生徒
- (3) 主体的に行動し、正しい判断力とコミュニケーション力を身に着けた生徒
- (4) 健康安全に留意し、命を大切にする生徒

## 4 現状と課題

生活背景を要因とした生徒に関わる課題は減少傾向にあるもの、依然として厳しい状況におかれている生徒は少なくない。今後も生徒の生活背景を十分に把握した上で、未来に向け主体的に考え行動できる資質や能力および意欲と態度を身につける教育を推進していく必要がある。また、全校生徒の約67%が外国につながる生徒であり、ほとんどの生徒が日本での進学、その後の就労をめざしていることもあり、高校卒業時の「日本語能力試験（N2）」取得をめざし、中学校段階から日本語での一斉授業における効果的な学習言語の取得や授業内容の理解を促進できる指導方法の研究と実践に取り組んでいる。ICT機器の効果的な活用と「学び合う」授業の実現に向けた授業改善への取り組みを進め、学ぶ意欲と学力の向上をめざしていきたい。

### 大切にしたいこと

☆保護者・地域との連携強化による教育活動の推進

☆ひと手間を惜しまない教育の推進

- ・前例踏襲の意識をなくし、改善を加えた教育活動を推進しよう
- ・授業力を向上させ、主体的・対話的な深い学びの実現をめざそう
- ・生徒たちの可能性を信じて成長を支えよう
- ・全校体制できめ細かな支援と丁寧な関りを継続しよう
- ・生徒としっかり向き合い、生徒の生活背景を掴もう
- ・保護者との連携を大切にしよう
- ・教職員自らが挑戦する気持ちを持ち続けよう
- ・地域との連携を大切にしよう。
- ・地域の課題を丁寧に把握・共有し、ともに歩みを進めよう

## 5. 令和6年度学校経営スローガン

「 明日は、今日よりもっと高く ～1%の可能性を信じて～ 」

## 6 重点目標と具体的な行動計画

### (1) 人権教育の充実を中核とした保幼小中一貫教育の推進

- ◇地域課題、生徒の実態に即した中学校区カリキュラムに基づく人権教育の推進  
教職員が「地域を知る」ことから研修を進め、実践につなげる。
- ◇語ること、伝えあうことを大切に仲間をつなぐ教育活動の推進
- ◇地域にある高洲町教育集会所・さくら児童館・中央市民館との連携を図る

### (2) ICT機器の効果的な活用と「学び合う」授業の実現

- ◇外部講師を招聘した公開授業研究会の実施および各種研修会への積極的な参加  
「伝え合う」から「学び合う」への授業を深化させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指す。
- ◇ICT機器やデジタル教科書、デジタル教材を効果的に活用した授業の創造
- ◇外国につながる生徒の学びの充実に向けた指導方法の研究と改善

### (3) 確かな学力を育む教育の推進

- ◇一人ひとりの学びを保障する少人数授業の実施と「基礎学習の時間」の充実
- ◇朝の読書、放課後学習（テスト期間等）、三重大学との連携による課外講座の実施
- ◇家庭学習の充実とICTの効果的な活用と保護者との連携強化

#### 令和5年度成果指標に基づいた本年度の目標

##### 生徒アンケートにおいて

【指標】授業はよくわかる・・・ 85%以上

令和5年度2学期末（英語以外8教科平均）

1年 94.77%    2年 86.9%    3年 86.0%

令和5年度2学期末（英語）

1年 82.4%    2年 90.1%    3年 91.2%

【指標】授業中わからないことがあったらまず周りの仲間尋ねる・・・90%以上

令和5年度2学期末

1年 100%    2年 96.8%    3年 82.3%

【指標】予習・復習を毎日やっている・・・70%以上

1年 55.9%    2年 45.2%    3年 71%

### (4) 社会への自立が可能となる特別支援教育及び外国につながる生徒への指導の充実

- ◇特別支援教育コーディネーターを中心としたきめ細かな特別支援教育の推進
- ◇「特別の教育課程」の趣旨を踏まえた個別カリキュラムを作成するとともに学習言語を獲得し、思考を表現できる授業づくりの推進
- ◇道徳教育・レジリエンス教育の推進

### (5) 生活習慣の形成と生徒理解に基づく生徒指導・生徒支援の充実

- ◇教育相談の充実と保護者との連携に基づく生徒理解
- ◇S S Wをはじめとする外部人材の積極的な活用および地域や関係機関との連携による生徒及び家庭支援

### (6) 社会性を伸ばし、生き方を切り拓く教育活動の推進

- ◇表現活動や体験学習を重視した教育活動の推進と地域との連携強化
- ◇生徒会活動の充実

令和5年度成果指標に対して本年度の目標  
生徒アンケートにおいて

【指標】学校が楽しい・・・90%以上

令和5年度2学期

1年 82.4%      2年 76.7%      3年 88.2%

【指標】なんでも言い合える友達がいる・・・90%以上

令和5年度2学期末

1年 88.2%      2年 80.7%      3年 91.2%

【指標】学校行事に積極的に取り組む・・・90%以上

令和5年度2学期末

1年 82.4%      2年 70%      3年 79.1%

【指標】先生に悩みを相談できる・・・70%以上

令和5年度2学期末

1年 70.6%      2年 61.3%      3年 64.7%

【指標】難しいことでも失敗を恐れず挑戦する・・・80%以上

令和5年度2学期末

1年 91.2%      2年 76.7%      3年 88.2%

(7) 教職員と生徒、保護者、地域との信頼関係の構築と地域とともにある学校づくりの推進

- ◇ 教育相談の充実 生徒・保護者理解に立った家庭訪問の実施と保護者との連携
- ◇ 地域学校協働本部の活性化による東橋内中学校区コミュニティスクールの推進

(8) 教職員の働き方改革の推進

- ◇一人当たりの月平均時間外労働時間 月45時間以内、年間360時間以内の実現をめざす。
- ◇定時退校日を設定し、定時に退校できた職員の割合80%以上をめざす。
- ◇放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合80%以上をめざす。
- ◇部活動地域移行に向け、人材発掘に努める。
- ◇部活動指導員の積極的な活用
- ◇SSSや教育相談員の活用により、教職員と生徒が向き合う時間の確保に努める。
- ◇学期に1日以上計画年休取得に努める。

(9) その他

- ◇制服検討委員会を設置し、制服の在り方についての検討を進めます。
- ◇地域と連携した総合防災訓練の実施に向け、地域自主防災組織との連携を進めます。